

**武蔵野クリーンセンター(仮称)
施設基本計画策定委員会(第9回委員会)
【配置・動線計画、煙突高さの検討】**

11月18日(木)

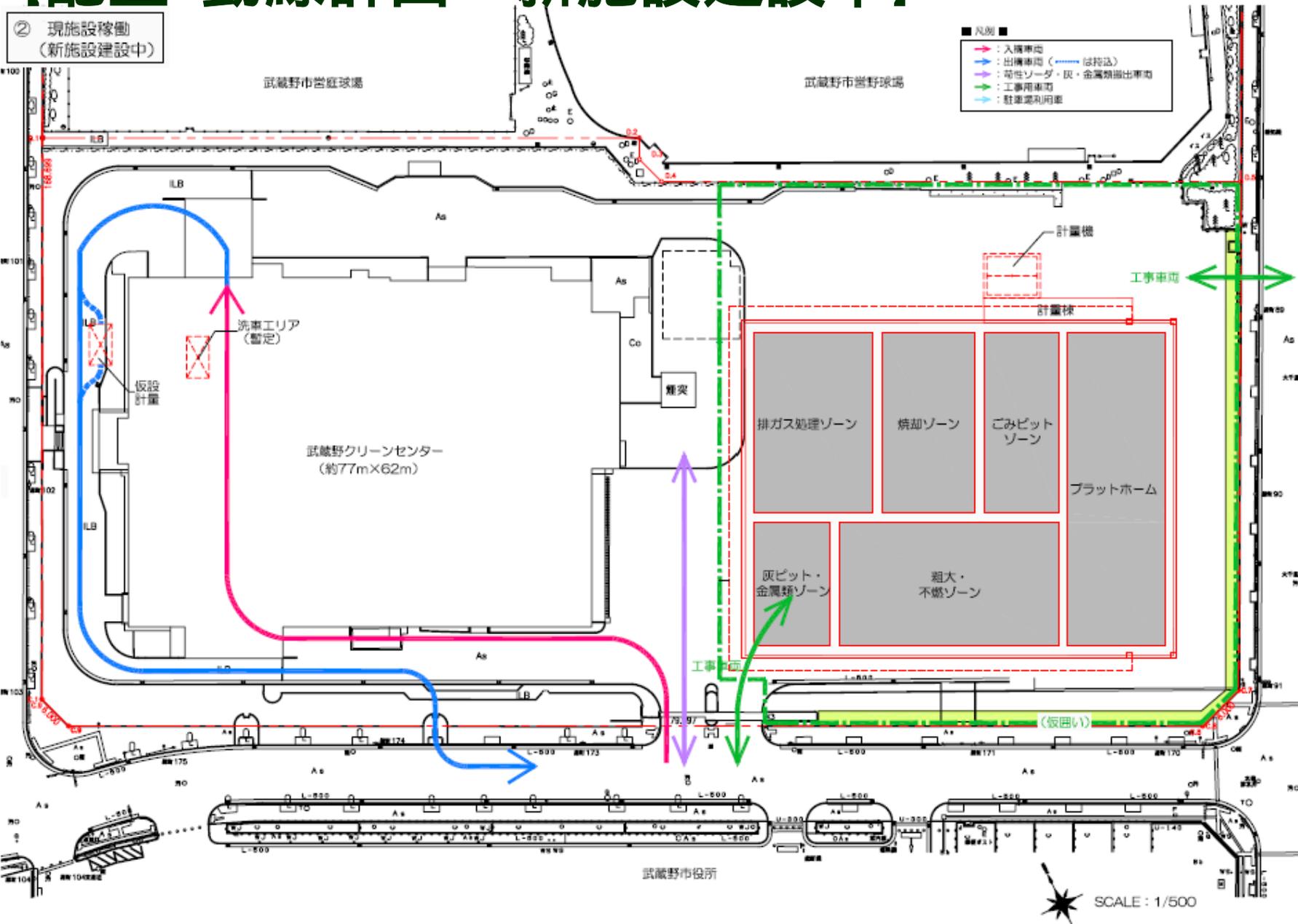
第8回作業部会(配置・動線計画の検討)11/10

第4回委員会・協議会合同勉強会(煙突高さの検討)11/4

【配置・動線計画 新施設建設中】

② 現施設稼働
(新施設建設中)

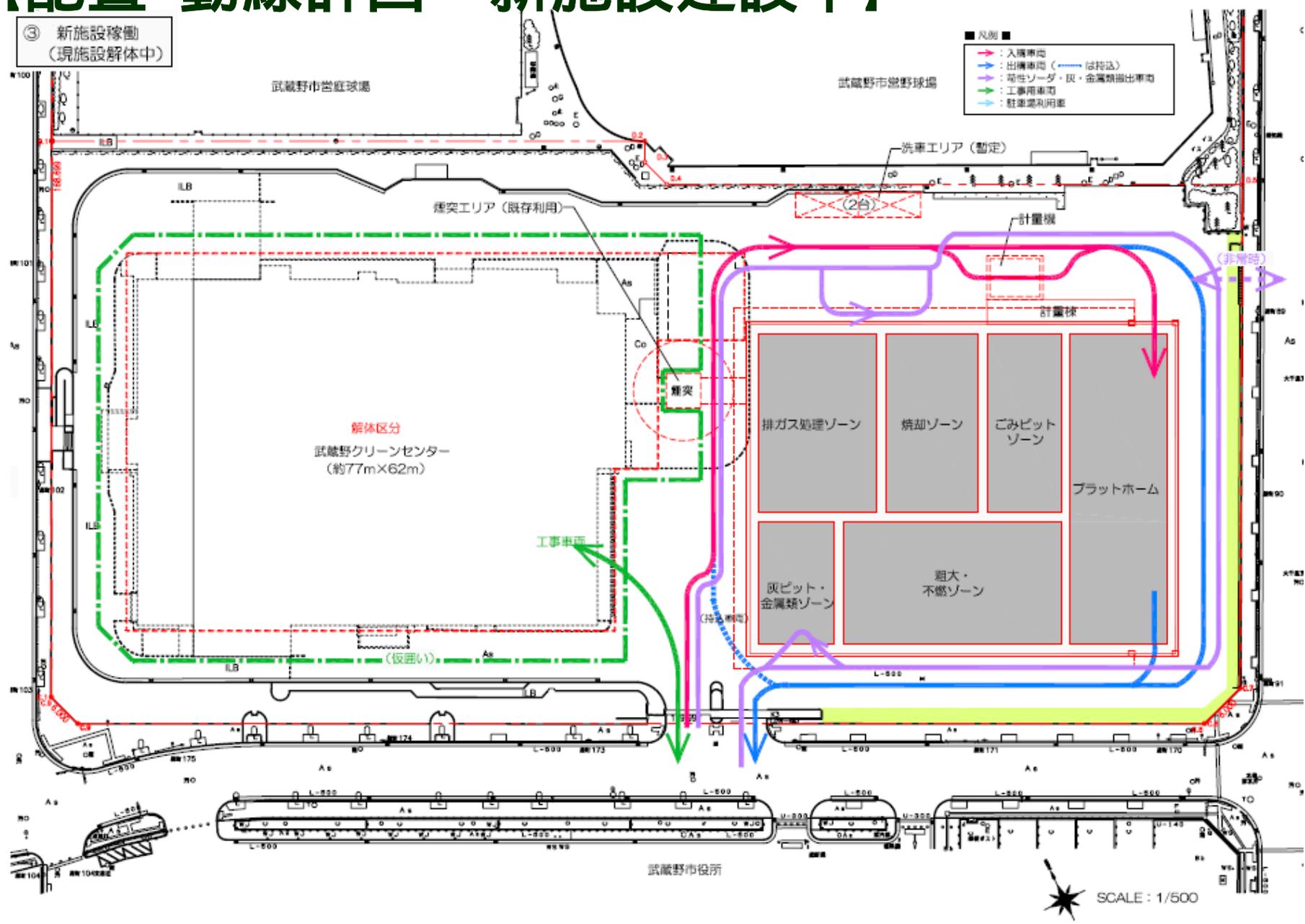
- 凡例 ■
- : 入構車両
- : 出構車両 (はた込)
- : 荷役ソーダ・灰・金属類出庫車
- : 工事用車両
- : 駐車場利用車



SCALE : 1/500

【配直・動線計画 新施設建設中】

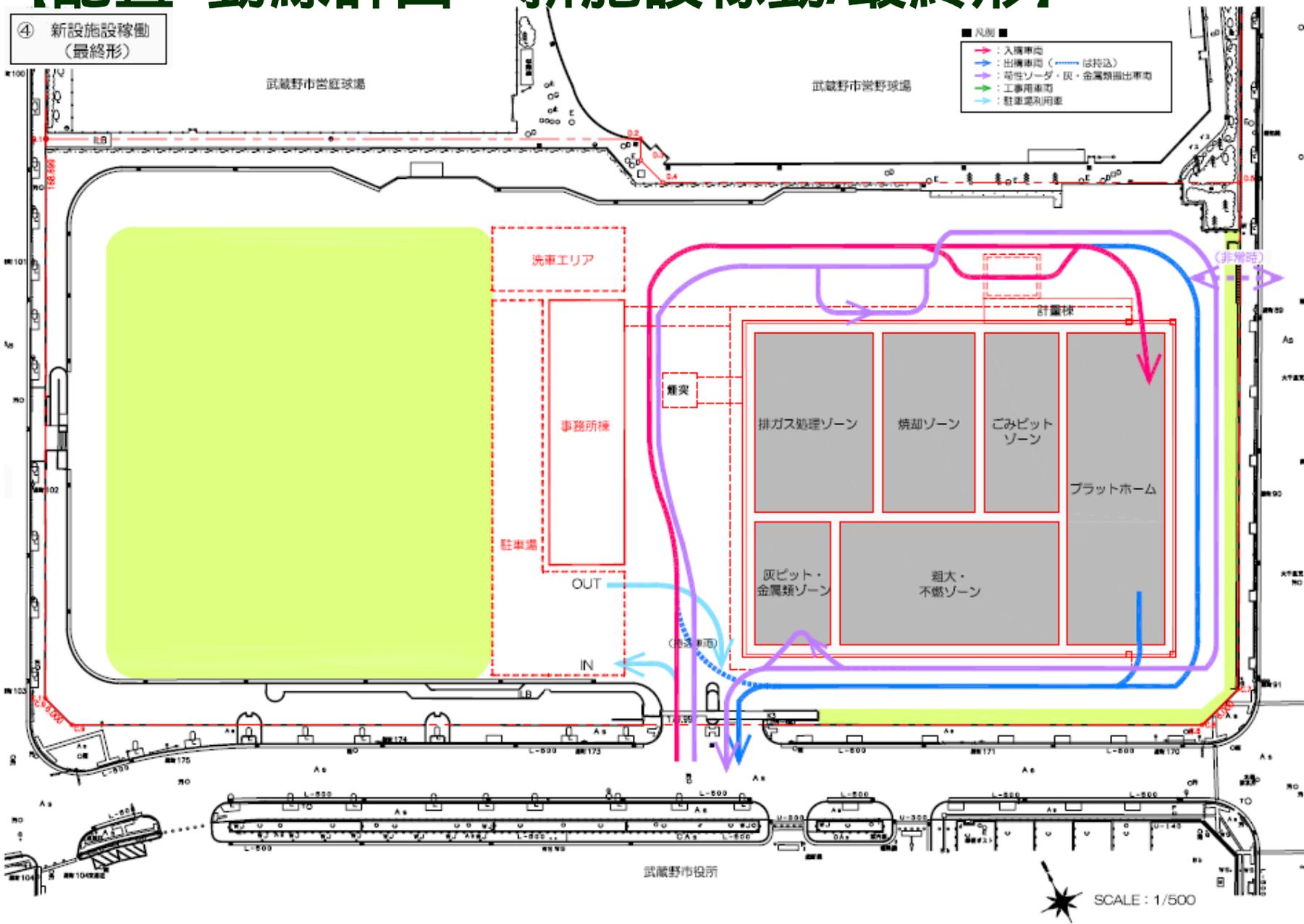
③ 新施設稼働
(現施設解体中)



【配置・動線計画 新施設稼働/最終形】

④ 新施設稼働 (最終形)

- 凡例 ■
- 入庫車両
 - 出庫車両 (← は持込)
 - 荷役ソーダ・灰・金属類出庫車両
 - 工事用車両
 - 駐車場利用車



SCALE : 1/500

煙突高さの検討】テーマ1. 安全で安定的なごみ処理施設と煙突（1）

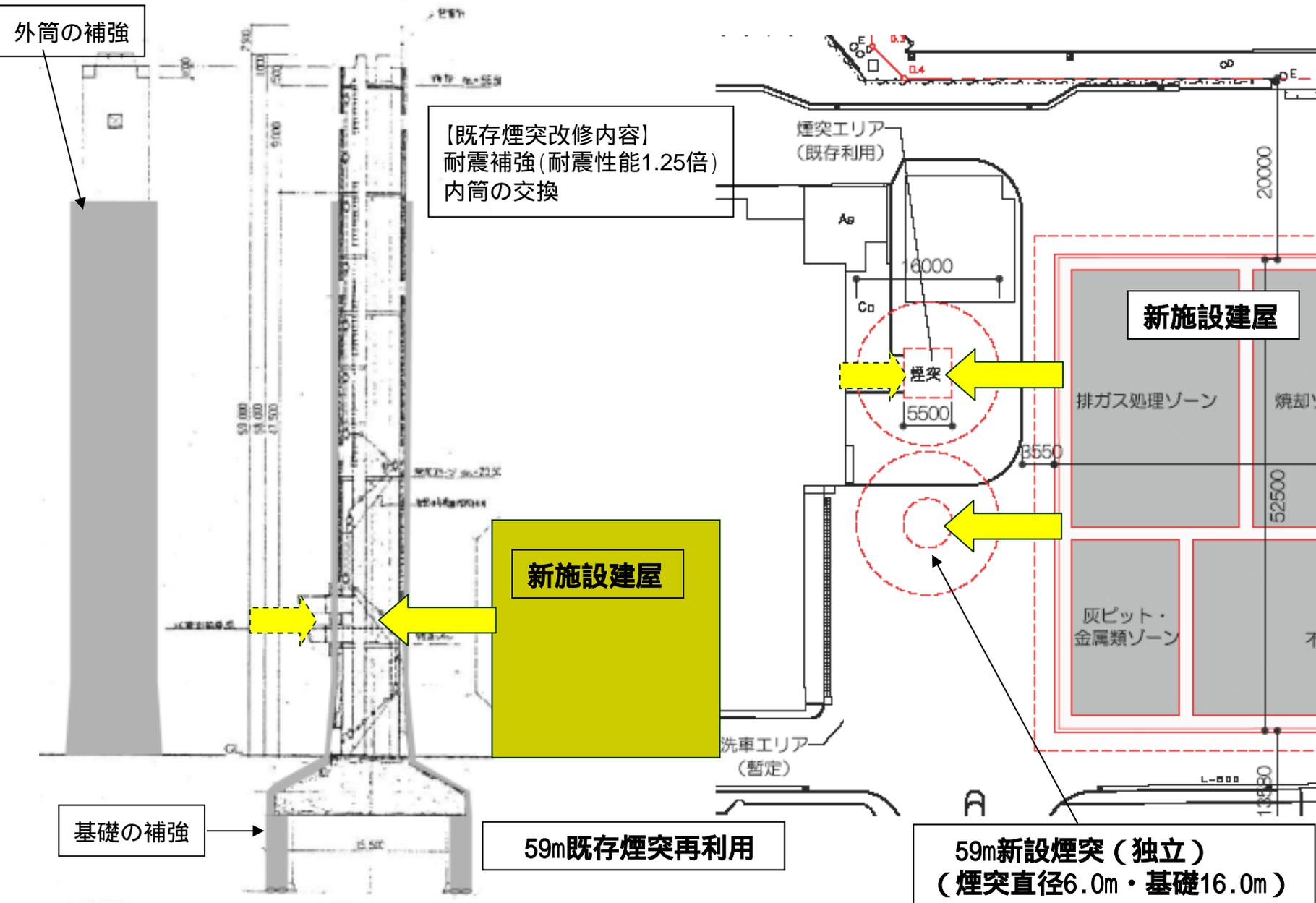
25年前、その当時の厳しい排ガス規制値を設定したが、新施設において、さらに厳しい全国トップレベルの自主規制値を設定する。



項目	単位	法規制値 ¹ (大気汚染防止法等)	新施設 自主規制値 (案)	現施設 自主規制値
ばいじん	g/m ³ _N	0.08以下 (焼却能力2~4t/h)	0.01以下	0.03以下
いおう酸化物 (SO _x)	ppm	(105程度)	10以下	30以下
窒素酸化物 (NO _x)	ppm	250以下	50以下	150以下
塩化水素 (HCl)	ppm	430以下 ²	10以下	25以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	1以下 (焼却能力2~4t/h)	0.1以下	1以下

高さ	場所	特徴	コスト
59 m	既存煙突利用	解体を行わないことにより、より「エコ」な煙突とできる。 新設でないため、他に比べコストが抑えられる。 工事中の動線計画がスムーズに行える。 煙道を最短経路とすることができる。(横配置 検討中) 運転しながら、内筒交換、耐震補強が必要	約1.5億円(内筒交換、耐震補強、仮設足場)
	新設独立煙(現煙突南側など)	煙道を最短経路とすることができる。(横配置 検討中) 工事計画上、配置が難しい。 工事計画上可能 × 既存煙突の解体が必要	約2.5億円(基礎工事、内筒・外筒新設、仮設足場) + 既存解体費 約1.5億円
	新設建屋と一体	建屋配置に関係なく煙道を最短経路とすることができる。 スペースを節約できる デザインが難しい 斜線制限に触れる可能性がある。 調査中 建屋と一体の構造になるため、複雑な構造となる。 コストは独立煙突より抑えられる。 × 既存煙突の解体が必要	約2億円(基礎工事、内筒・外筒新設一体工事、仮設足場) + 既存解体費約1.5億円
100 m	新設(現煙突南側など)	煙道を最短経路とすることができる。(横配置 検討中) × 工事計画上、配置ができない。 現施設の運営に支障をきたすため、仮設煙突を設置したうえで、既存施設解体後に、煙突新設する必要がある。 × コストが増大する。 × 既存煙突の解体が必要	約5.8億円(基礎工事、内筒・外筒新設、仮設煙突、仮設足場) + 既存解体費約1.5億円 + 仮設煙突0.5億円

煙突配置、既存煙突再利用方法(案)



既存煙突活用可能性



足立清掃工場

既存煙突の外筒部分を再利用した事例として、世田谷清掃工場や足立清掃工場、他にも志木地区衛生組合・富士見環境センター等がある。

3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進の一環として、煙突の内筒は老朽化しているため交換となるが、外筒は改良・補強してリユースすることもある。

既存煙突解体費用

- ・ 既存煙突の解体費用は、約1.5億円であり、解体撤去でコストをかけるよりも、改修によるリサイクルが望ましいと考える。



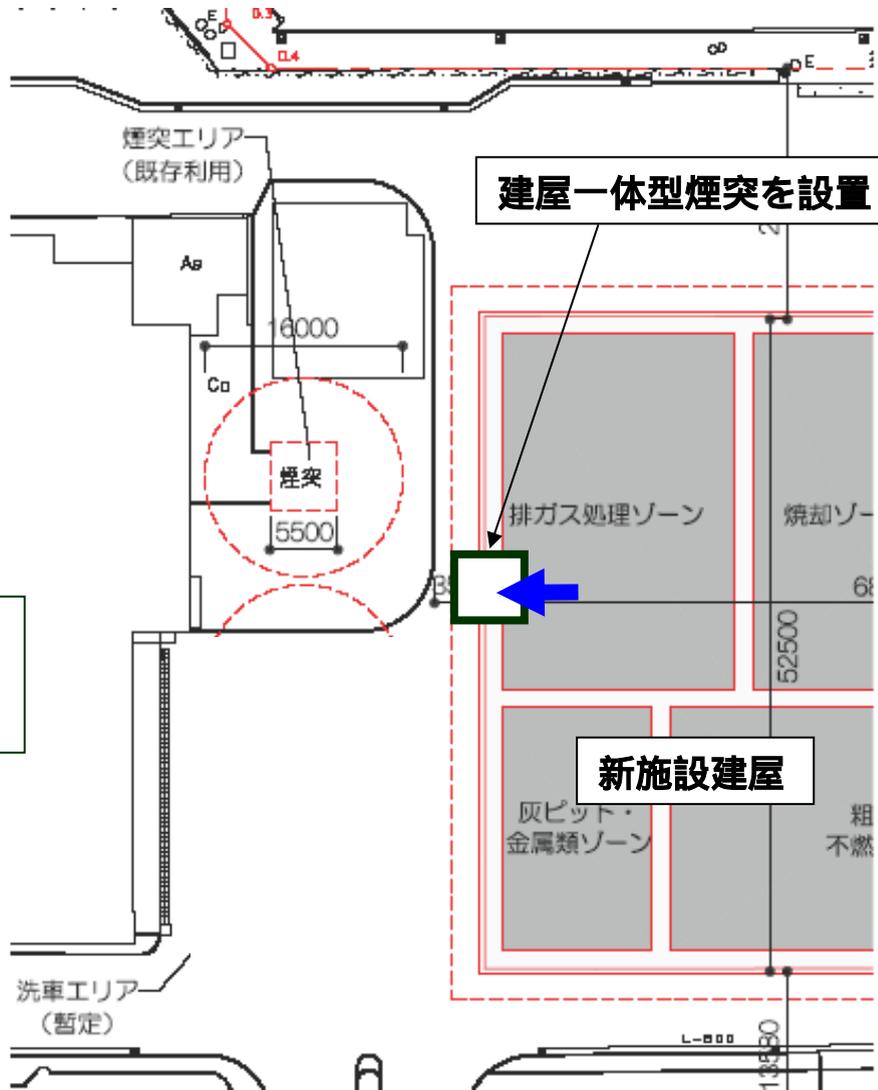
世田谷清掃工場

高さ59mの建屋一体型煙突の施工方法

延岡市清掃工場
(煙突高さ 59m)
写真:市HPより



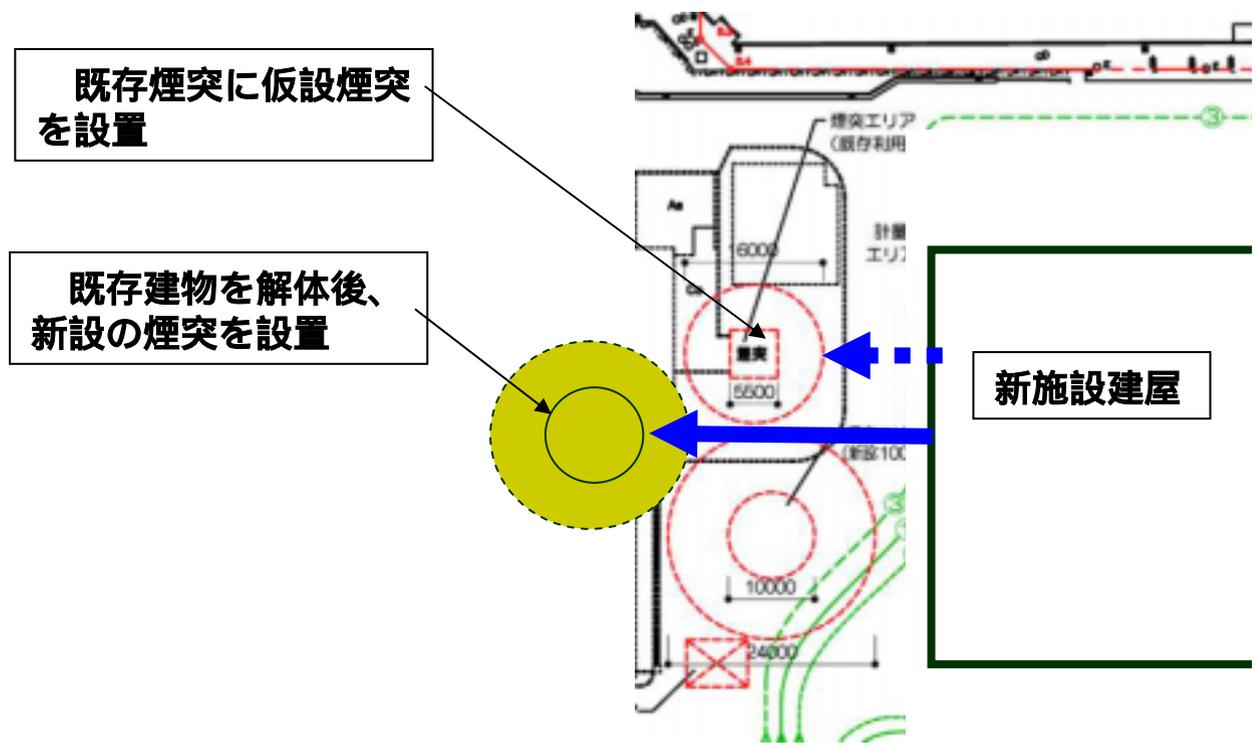
クリーンヒル宝満
(煙突高さ -)
写真:組合HPより



デザイン上の課題がある

高さ100mの煙突の施工方法

100mの煙突の場合には、煙突基礎が大きいいため、施工範囲が大きくなり、現クリーンセンターから灰・金属類の搬出を行うことが困難となる。また、新設建屋との一体化は構造上難しい。この場合、仮設煙突を設置し、既存施設解体後、高さ100mの煙突を設置する。



100mの場合
(煙突直径10.0m・基礎24.0m)



この地域のシンボルとして、市民に親しまれる煙突



この煙突高さ(59m)、デザインは25年間の歴史を刻み、定着した風景となりつつある。仰角の検討においても大きな違和感を与えない範囲にある。

この煙突高さ(100m)は、仰角の検討においても大きな違和感を与える範囲にある。



パークタウン7階(高さ約20m)から

現状(約59m)



約100m



ふれあい広場中央



現状(約59m)



約100m